

画像・IT研究室の設置について

平成29年12月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、画像解析技術とITの活用に関する研究開発や技術支援を迅速に実施するため、信号・情報技術研究部に「画像・IT研究室」を設置し、12月1日に発足式を行いました。

鉄道総研では、画像解析技術やビッグデータ解析・ディープラーニングに代表されるITの活用に関する研究開発を、より強力かつスピーディーに推進することで鉄道事業者のニーズに迅速に応えるとともに、さらに新しい技術を提案するため、信号・情報技術研究部に「画像・IT研究室」を新たに設置しました。これまで鉄道総研において個々の技術分野で蓄積してきた画像処理技術とITの活用に関する知見を結集することにより、鉄道総研の技術力を最大限に活かしてまいります。

本研究室では、鉄道に活用するための画像解析技術およびITの高度化に取り組むとともに、施設の状態監視や列車運行時の乗務員支援等への画像解析技術の適用、保守の効率化や列車の運行制御等へのITの適用に関する研究開発を推進し、革新的な技術の創出にチャレンジします。

また、画像解析技術・ITの研究者と各技術分野の研究者とが共同でオープンに議論できる場を設け、急速に進化する画像解析技術・ITに対応して保守の効率化や列車の運行制御等の研究開発を加速します。

発足式では、川崎邦弘 信号・情報技術研究部長の研究室設置の趣旨説明、熊谷則道 理事長の新研究室メンバーへの期待、鶴飼正人 研究室長の抱負が述べられました。

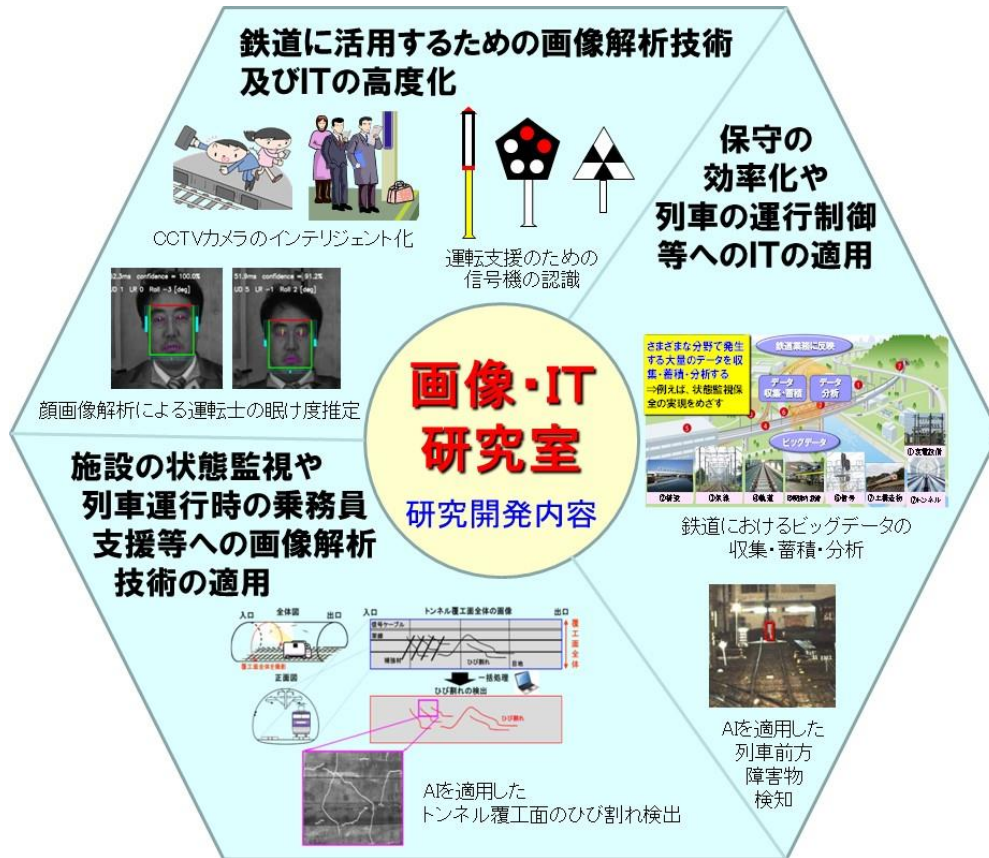
【熊谷理事長の新研究室メンバーへの期待】

画像・IT研究室を新たに設置した意義は2つあります。第一には、多様な他分野の知見を有するメンバーを結集して、鉄道のIT研究を躊躇なく果敢に敢行することです。このため鉄道総研のほぼ全ての研究分野から研究者を新しい研究室メンバーとする体制を作りました。ITを鉄道に導入するためには、高性能・低コストなシステムを実現することが必要です。各人の研究成果や知識を統合し、その相乗効果を活かして下さい。第二には、画像やITに関心の高い研究者、取り組みたい研究者がオープンにディスカッションでき、知識を吸収できる場とすることです。みなさんのチャレンジを期待しています。

【鶴飼正人研究室長の抱負】

画像・IT研究室の大きな特徴は、各分野でこれらに関わる研究者が結集したことです。有効な成果を早期に出すためには、鉄道総研の技術力を最大限に活かすことが必要であり、今回その下地が整いました。各専門家の知見が共有されることで、単独で実施したのでは実現できないシナジー効果が発揮されるものと思っております。最初は手探りの状態での船出になるかもしれませんが、メンバー間でよく話し合っ、革新的な成果を創出する覚悟で取り組んでまいります。

画像・IT研究室は研究室長をはじめ13名でスタートします。



熊谷理事長（前列左から2人目）、鶴飼室長（前列左から3人目）、川崎部長（前列左から4人目）と新研究室メンバー

（報道機関問い合わせ先）

公益財団法人鉄道総合技術研究所総務部 広報 TEL：042-573-7219

(参考)

